

## 中国地方整備局事業評価監視委員会名簿

(平成17年12月6日現在、敬称略、順不同)

氏名	所属	専門分野等(専攻)
【委員長】 とちもと いさお 櫛本 功	広島大学名誉教授	経済政策、地域経済
【副委員長】 みちうえ まさのり 道上 正規	(財)とっとり政策総合研究センター理事長	水工学、防災工学
いのうえ のりゆき 井上 矩之	福山大学工学部教授	交通工学,土木計画学
うえだ しげる 上田 茂	鳥取大学工学部教授	海洋構造工学,港湾工学
うちだ かずこ 内田 和子	岡山大学文学部教授	地理学
すぎもと くにたろう 杉元 邦太郎	広島文教女子大学人間科学部教授	地域開発論,地域計画
ちば きょうぞう 千葉 喬三	岡山大学学長	地域生態管理学
ほりうち ひでお 堀内 日出夫	中国経済連合会専務理事	地域経済
むらた ひでかず 村田 秀一	山口大学工学部教授	基礎・土質工学
わかつき としじ 若槻 俊二	(株)エブリプラン総括顧問	地域経済

【再評価】

No.	事業種別	事業名	事業概要	経緯	該当要件	対応方針(案)	備考
1	道路	一般国道2号 福山道路	一般国道2号は、大阪市を起点とし、瀬戸内海沿岸の諸都市を連絡し、北九州市に至る延長約680kmの主要幹線道路である。 福山道路は、福山市中心市街地の交通渋滞の緩和及び交通安全の確保を目的とした道路で、現在、福山市瀬戸町長和から赤坂町の約3.3kmについて整備中である。	平成13年度 事業着手	事業採択後 5年経過	事業継続	
2	道路	一般国道9号 米子道路	一般国道9号は、京都市から下関市に至る延長約645kmの主要な幹線道路である。 米子道路は、米子市内の交通渋滞の緩和及び山陰の地方都市間との連携強化、地域の活性化を図ることを目的とした延長約14.2kmの4車線道路である。	昭和47年度 事業着手 平成12年度 事業再評価実施	再評価後 5年経過	事業継続	
3	河川	小瀬川水系直轄総合水系 環境整備事業	小瀬川は、広島県西部の飯ノ山に源を発し、狭隘な山間を南下しながら、途中広島県と山口県の県境を成す川となる。その後、ほぼ本川に匹敵する規模の支川玖島川と合流した後、直轄の弥栄ダムで造られた「弥栄湖」付近から流れを東向きに変え、左岸広島県大竹市、右岸山口県和木町の位置で瀬戸内海に注いでいる。 本事業は、流域全体の環境整備計画や地元要望に基づいて、小瀬川の豊かな自然環境や文化を活かした交流の場、環境学習・自然体験等の拠点づくりを行うことにより、貴重な水辺空間の利活用の促進を図るものである。	平成11年度 事業着手	社会情勢の 変化等	事業継続	
4	港湾	水島港玉島地区 航路整備事業	水島港は、臨海工業地帯の立地・拡大を背景に、専用施設による専用貨物の取扱いを主体として発展してきた。しかしながら、近年、コンテナ貨物を中心とする外貿公共貨物量が急増し、また船舶の大型化も急速に進展している。 一方、水島港において、コンテナ貨物の取扱いが可能な公共施設は、玉島地区の水深-7.5m以浅の施設(航路、岸壁、泊地等)に限られ、その能力が不足している。このため、増加する公共貨物は全て神戸港を利用せざるを得ない状況となっており、物流コストの増加、地域産業の経済活動の阻害を招いている。 本プロジェクトは、物流コストの削減、地域産業の安定的な発展、安全かつ安定的な海上交通体系の確保を図るため、玉島地区において外貿コンテナ貨物の効率的な輸送と大型船舶の入港に対応可能な航路及び関連する岸壁等を整備するものである。	昭和60年度 事業着手 平成12年度 事業再評価実施	再評価後 5年経過	事業継続	
5	港湾	三田尻中関港築地地区 防波堤整備事業	三田尻中関港築地地区防波堤の目的は、港内の静穏度を確保し、荷役作業の効率性を高めると共に航行船舶の安全性を確保するものである。特に、台風来襲時は高潮・波浪による護岸の崩壊及び越波による浸水被害を幾度となく受けており、復旧期間は、港が使用できない状況である。従って本港は、港内外を航行する船舶の安全性を向上すると同時に岸壁背後地の浸水被害を回避することで、荷役及び保管に支障がないようにしなければならない。 以上のため、安全かつ効率的な荷役による物流の効率化や港湾施設被災による港湾施設機能の停止などの問題に対応するために防波堤整備事業として防波堤(東)470m及び防波堤(西)300mを整備するものである。	平成3年度 事業着手 平成12年度 事業再評価実施	再評価後 5年経過	事業継続	

【事後評価】

No.	事業種別	事業名	事業概要	事業年度	備考
1	道路	一般国道2号 玉島バイパス	一般国道2号は、大阪市を起点とし、瀬戸内海沿岸の諸都市を連絡し、北九州市に至る延長約680kmの主要幹線道路である。 玉島バイパスは、一般国道2号の交通混雑の緩和、沿道地域の環境保全や都市機能の充実、地域経済の発展を図るもので、広域交流の促進及び地域の活性化に大きく寄与することを目的として計画された倉敷市大西から倉敷市玉島阿賀崎に至る延長9.3kmの道路である。昭和47年度に事業着手し、昭和56年より順次供用を重ね、平成14年7月に全線暫定供用(2/4)を行ったものである。	S47~H14年度	
2	営繕	第六管区海上保安本部 徳山海上保安部	徳山海上保安部は、山口県周南市那智町3-1に位置する。 経年による劣化が著しく、航路標識事務所との統合等により狭隘化が進んでいた。また、敷地内に施設が分散していることや、施設に不備があり、業務、及び災害対策官署としての活動に支障があった。 以上の理由により、行政サービス向上及び防災拠点機能の確保を目的として建て替え整備を行った。 構造：鉄筋コンクリート造3階建 規模：約2,633m <sup>2</sup>	H13~H15	

対象事業位置図

